

環境活動レポート 2013

持続可能な社会を目指して・・・



(2013.4～2014.3)

《2013年度環境活動レポート

2014年6月30日 発行》

	ページ
目次	2
環境方針	3
事業概要	4-5
環境経営システム組織図	6
環境目標とその実績	7-8
環境活動計画の取組結果とその評価	9-14
環境改善活動報告	15
環境関連法規遵守状況	16
次年度の取組内容	17
代表者による全体評価と見直しの結果	18



大阪金属株式会社

◇経営理念

情熱・信念・和で技を磨き、人材と製品づくりを通して社会に貢献します。

◇品質方針

私たちは顧客満足の向上の為、優れた技術力と人材で「お客様に信頼される品質確保」を目指し、確かな製品を提供します。

又、品質マネジメントシステムの有効性を、継続的に改善して競争力のある強い企業をめざします。

◇スローガン

情熱と信念で誇れる製品を作ろう (クレームゼロをめざす!!)

基本理念

私たちは、社会の一員として、
産業界への貢献を目指し、
人材と製品づくりを通して自主的かつ
積極的に環境保全活動に努め、
お客様から信頼される企業を目指します。

大阪金属株式会社
代表取締役 阪口 新太郎

行動指針

具体的に次のことを誓約します。

1. 環境関連法規の遵守
2. 電力及び燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
3. 原材料の節減、3 R(減量・再使用・再生利用)の推進による廃棄物の削減
4. 水資源の節減
5. 化学物質使用量の管理、削減
6. グリーン購入やグリーン調達の推進
7. 当社の製品及びサービスにおける、環境に配慮した生産・活動の積極的導入
8. 全社員の環境学習の推進

この環境方針は、社外へも公表します。

制定日 : 2008年9月26日
改訂日 : 2010年10月1日
代表取締役 阪口 新太郎

(1) 事業者名及び代表者名

大阪金属株式会社
代表取締役 阪口 新太郎



(2) 所在地



本 社：
大阪府高石市高砂3丁目30番地

平成19年11月取得



和泉工場：
大阪府和泉市テクノステージ1丁目3番5号



朋友金属(株)：
大阪府和泉市春木町68番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

本 社：	管理責任者	総務部部长	藤岡 直樹	TEL：072-268-0151
本 社：	推 進 委 員	総務部部长	藤岡 直樹	TEL：072-268-0151
和泉工場：	推 進 委 員	品質管理部係長	諏訪 達紀	TEL：0725-53-5050
朋友金属：	推 進 委 員		住本 薫	TEL：0725-53-3991

(4) 事業内容（認証・登録の範囲）

全組織・全活動
各種鋳物製品の開発・設計・製造・加工及び販売

(5) 事業の規模

- ・売上高（平成25年度実績） 本社510百万円 和泉工場1,795百万円 朋友金属1,542百万円
- ・本社工場生産量 月産300トン（能力規模）
- ・従業員 56名（内数：朋友金属(株) 20名）
- ・建屋規模（床面積）

本社・本社工場	1,094 m ²
和泉工場	970 m ²
朋友金属	1208 m ²

(6) なにわの名工（若葉賞）

北道 清二 製造部 課長 平成15年11月受賞

(7) 事業年度 4月～3月

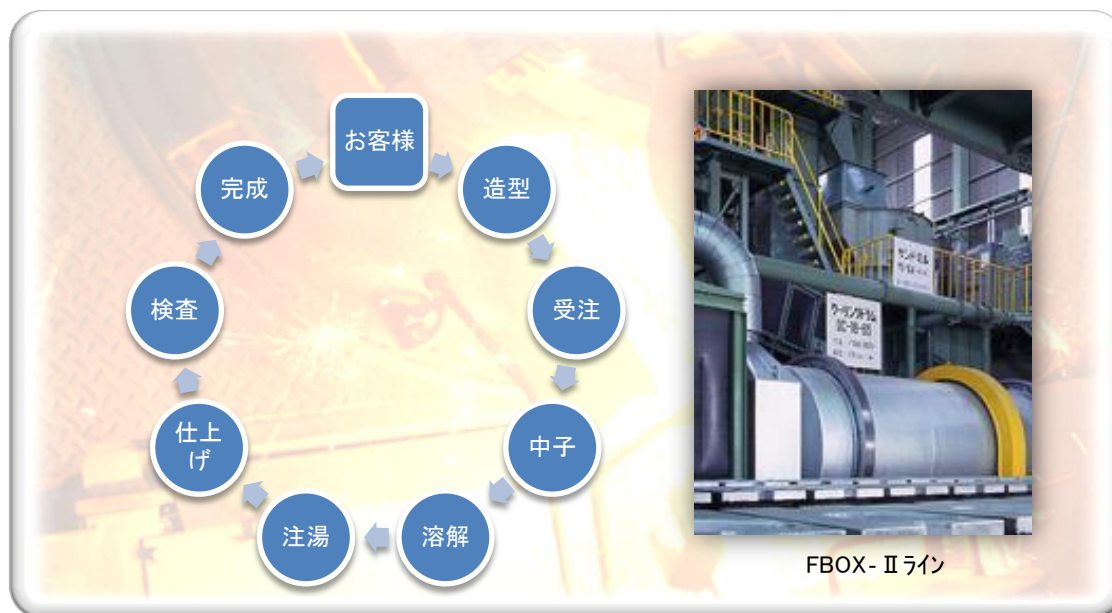
会社及び事業概要(本社工場 生産の流れ)

生産工程に採用のFBOX-Ⅱラインは、簡易型、木型を問わず生産が可能です。

しかも、型交換が容易なため、フレキシブルさが求められる多品種ロット生産にも迅速に対応します。

微妙な元素の配合や鑄造・冷却温度の設定を可能にするなど、徹底した品質管理を行うことで、高品質な製品をお届けしています。

また、どの工程においても振動・騒音・粉塵・排水などの公害防止設備を設置し、工場をとり巻く周辺環境の安全性にも細心の注意をはらっています。

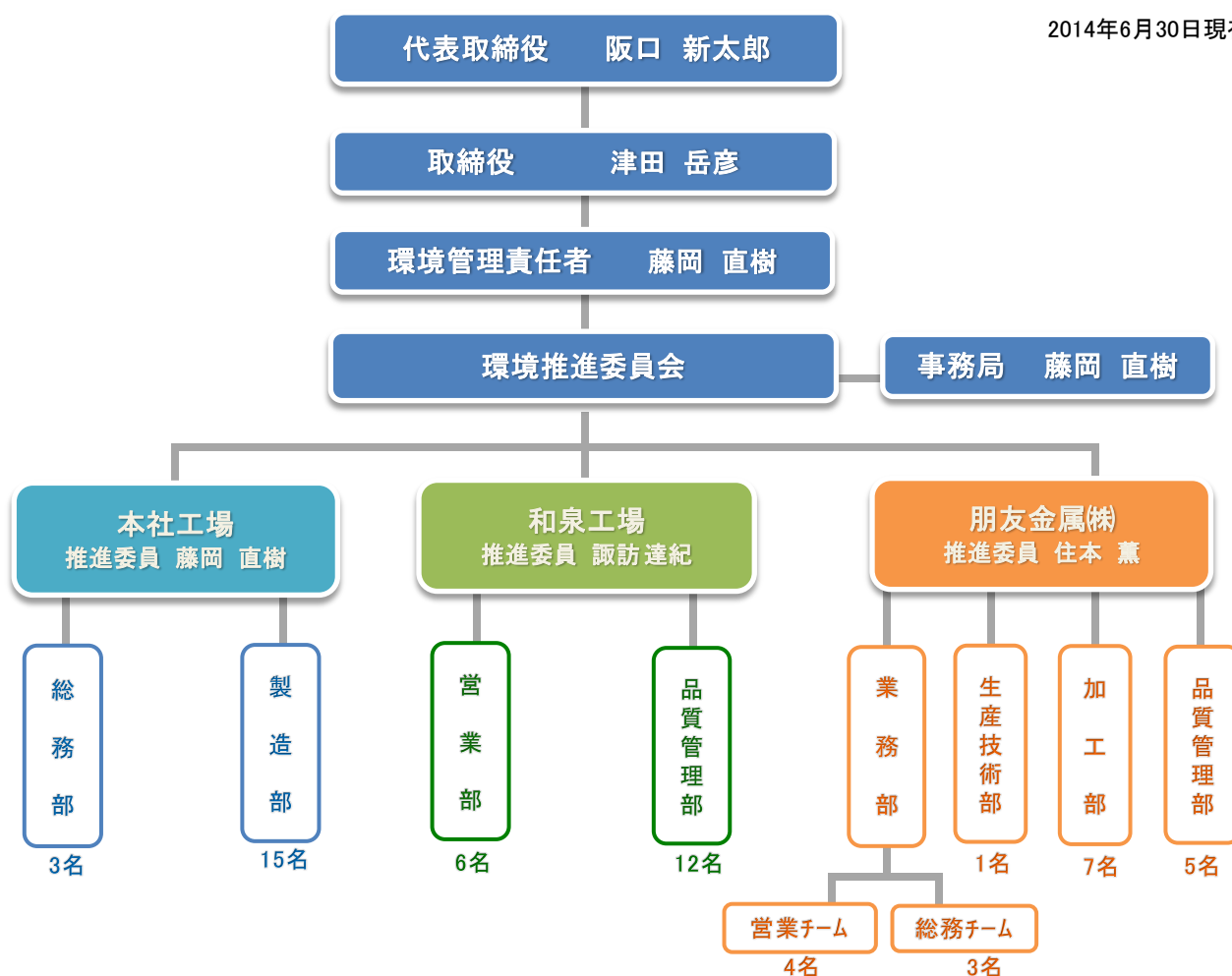


また、忘れてはならないのが、私たちの生産ネットワークです。

様々な鑄造製品の製造で定評のある協力工場と積極的に協力体制を結び、大物から小物まであらゆるニーズに迅速・確実に対応する生産システムを構築することでコストダウンとクオリティアップを図っているのです。



2014年6月30日現在



	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代表者 【社長】	・環境経営に関する最高責任者 ・環境管理責任者の任命 ・環境方針の策定、全従業員へ周知 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者 推進委員会委員長	・環境経営システムの構築・実施・管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標・活動計画書・活動レポートの確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告
環境推進委員会事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境への負荷及び取組の自己チェックの実施 ・「環境関連法規等取りまとめ表」の作成及び遵守評価の実施 ・環境目標・活動計画書の作成 ・活動実績集計 ・外部コミュニケーションの窓口 ・活動レポートの作成、公開
部門長	・環境経営システムの実施 ・環境方針の周知 ・活動計画の実施及び達成状況の報告 ・緊急事態への対応のためのテスト・訓練・記録
全従業員	・決められたことを守り、部門長の支持に従い取組を実行する ・自主的・積極的に環境活動へ参加

環境目標項目		対象サ卜別		前年度	2013年度(4～3月)				次年度目標	中期目標	
				2012年度	目標	実績	達成率	前年比	2014年度	2017年度	
規模	本社工場	生産量(t)	2,294	-----	2,260			-----	-----		
		従業員	19 人	-----	18 人			-----	-----		
	和泉工場	販売量(t)	6,880	-----	8,822			-----	-----		
		従業員	15 人	-----	18 人			-----	-----		
	朋友金属	業務加工 取扱高(t)	5,980	-----	7,063			-----	-----		
			370	-----	405			-----	-----		
従業員		20 人	-----	21 人			-----	-----			
二酸化炭素 排出量 (kg-CO2)	本社	総量	1,713,687	1,696,550	1,683,159	101%	1.8% 削減	1,666,327	1,628,003		
		原単位	747.0 /t	739.6 /t	744.8 /t	99%	0.3% 削減	737.3 /t	709.7 /t		
	和泉	総量	82,342	81,518	70,120	116%	14.8% 削減	69,419	78,225		
		原単位	12.0 /t	11.8 /t	7.95 /t	149%	34.2% 削減	7.87 /t	11.4 /t		
	朋友	総量	130,708	129,401	147,907	87%	13.2% 増加	146,428	124,173		
		原単位	20.58 /t	20.4 /t	19.80 /t	103%	3.8% 削減	19.61 /t	19.55 /t		
排出係数 0.514	総量計		1,926,737		1,901,186		1.3% 削減				
エネルギー 使用量の削減	電気 (kwh)	本社	総量	3,162,825	3,131,197	3,184,879	98%	0.7% 増加	3,153,030	3,004,684	
			原単位	1,379 /t	1,365 /t	1,409 /t	97%	2.2% 増加	1,395 /t	1,310 /t	
		和泉	総量	70,902	70,193	62,483	112%	11.9% 削減	61,858	67,357	
			原単位	10.3 /t	10.2 /t	7.1 /t	144%	31.3% 削減	7.0 /t	9.8 /t	
		朋友金属	業務	総量	6,943	6,874	7,230	95%	4.1% 増加	7,158	6,596
				原単位	1.16 /t	1.15 /t	1.02 /t	112%	11.8% 削減	1.01 /t	1.10 /t
			加工	総量	202,959	200,929	228,501	88%	12.6% 増加	226,216	192,811
				原単位	548.0 /t	542.5 /t	563.9 /t	96%	2.9% 増加	558.2 /t	520.59 /t
		総量計		3,443,629		3,483,093		1.1% 増加			
	ガソリン (L)	本社	総量	-	-	-			-	-	
			原単位	-	-	-			-	-	
		和泉	総量	3,138	3,107	2,827	110%	9.9% 削減	2,799	2,981	
			原単位	0.456 /t	0.452 /t	0.320 /t	141%	29.7% 削減	0.317 /t	0.433 /t	
		朋友	総量	5,437	5,383	6,186	87%	13.8% 増加	6,124	5,165	
			原単位	0.86 /t	0.85 /t	0.83 /t	102%	3.3% 削減	0.82 /t	0.81 /t	
		総量計		8,575		9,013		5.1% 増加			
	軽油 (L)	本社	総量	-		-			-	-	
			原単位								
		和泉	総量	9,455	9,361	8,256	113%	12.7% 削減	8,173	8,982	
			原単位	1.37 /t	1.36 /t	0.936 /t	145%	31.9% 削減	0.93 /t	1.31 /t	
		朋友	総量	2,770	2,742	3,666	75%	32.3% 増加	3,629	2,632	
			原単位	0.436 /t	0.432 /t	0.491 /t	88%	12.5% 増加	0.486 /t	0.414 /t	
		総量計		12,225		11,922		2.5% 削減			

環境目標項目	対象サイト別		前年度	2013年度(4～3月)				次年度目標	中期目標
			2012年度	目標	実績	達成率	前年比	2014年度	2017年度
産業廃棄物 排出量の削減 (トン)	本社	総量	551	545	553	98.6%	0.4% 増加	547	523
		原単位	0.240 /t	0.238 /t	0.245 /t	97%	1.9% 増加	0.242 /t	0.228 /t
	和泉	総量	72.3	71.6	102.47	70%	41.7% 増加	101.4	68.7
		原単位	0.0105 /t	0.010 /t	0.0116 /t	89%	10.6% 増加	0.0115 /t	0.010 /t
	朋友	総量	1.496	1.481	1.290	115%	13.7% 削減	1.277	1.421
		原単位	0.236 kg/t	0.233 kg/t	0.173 kg/t	135%	26.7% 削減	0.171 kg/t	0.224 kg/t
	総量計		625		657		5.1% 増加		
水使用量の 削減 (m³)	本社	総量	3,349	3,316	3,244	102%	3.1% 削減	3,212	3,182
		原単位	1.460 /t	1.445 /t	1.435 /t	101%	1.7% 削減	1.421 /t	1.387 /t
	和泉	総量	362	358.4	260.0	138%	28.2% 削減	257.4	343.9
		原単位	0.053 /t	0.0525 /t	0.029 /t	178%	44.4% 削減	0.0292 /t	0.050 /t
	朋友	総量	362.9	362.9	343.3	106%	5.4% 削減	343.3	344.8
		原単位	1.675 /人	1.675 /人	1.479 /人	113%	11.7% 削減	1.479 /人	1.591 /人
	総量計		4,074		3,847		5.6% 削減		
化学物質使用量の削減 (L)	本社工場	トルエン 原単位	0.038 /t	0.0376 /t	0.0480 /t	78%	26.3% 増加	0.0475 /t	0.0361 /t
		キシレン 原単位	0.00003 /t	0.000030 /t	0.000035 /t	85%	16.7% 増加	0.0000347 /t	0.0000285 /t
		ナフタレン 原単位	0.00013 /t	0.000129 /t	0.00015 /t	86%	15.4% 増加	0.000149 /t	0.000124 /t
		ホウ酸 原単位	0.0282 /t	0.0279 /t	0.0319 /t	88%	13.1% 増加	0.0316 /t	0.026790 /t
	和泉	トルエン 原単位	0.0184	0.01822 /t	0.0263 /t	69%	42.9% 増加	0.0260 /t	0.0175 /t
		キシレン 原単位	0.00284	0.00281 /t	0.0039 /t	72%	37.3% 増加	0.0039 /t	0.0027 /t
		エチルベンゼン 原単位	0.0025	0.00248 /t	0.0031 /t	80%	24.0% 増加	0.0031 /t	0.0024 /t
	朋友		—		—			—	—
グリーン購入の推進	本社		43.0%	44.0%	58.3%	133%	35.6% 増加	58.9%	45.2%
	和泉		—			—		—	—
	朋友		51.4%	51.9%	48.8%	94%	5.1% 減少	49.3%	53.97%
環境に配慮した生産・活動の推進	本社		5.1%	5.0%	5.7%	89%	11.8% 増加	5.6%	4.85%
	和泉		3.7%	3.6%	1.5%	240%	59.5% 低減	1.49%	3.52%
	朋友		5.80%	5.74%	3.60%	159%	37.9% 低減	3.56%	5.51%

各サイトの使用燃料の内、灯油・LNG・LPGの各使用量は、季節要因もあり量的にも僅少で、当面環境目標としての扱いはしない整理とした。

又、本社のガソリン及び軽油についても当面、環境目標としての扱いはしない。

また朋友金属の化学物質使用量も同様とする。

*購入電力CO2排出係数: 0.514kgCO2/kwh(2012年度関西電力(株)実排出係数)

電力使用量削減

目標：2012年度実績の1%削減(原単位)

2013年度の環境活動計画				目標達成	
				原単位	総量
本社	不要な照明を消す	空調の適温化、トラブル防止、メンテナンス強化		×	×
和泉		ショットブラストの時間短縮		○	○
朋友業務		空調の温度設定(冷房:28℃、暖房:20℃)		○	×
朋友加工		効率のよい生産計画		×	×
評価	本社 和泉 朋友	7月から年末まで、製造部電気炉造型機トラブルにより使用量が増加し目標達成に至らなかった。ショット時間の短縮等で、電力消費の削減が出来た。原単位44%削減達成。 昨年から引き続き総量は増加し、営業の原単位のみの達成となった。更なる努力が必要である。			

□ 節電の取組事例

- ・不必要な電灯の消灯
- ・お昼休みのエアコンOFF
- ・トイレの便座蓋を閉めて節電
- ・離席時のPCをスリープ状態に
- ・日よけスクリーン
- ・LED電球への切り替え
- ・省エネ型コピー機の導入
- ・省エネ型エアコン購入

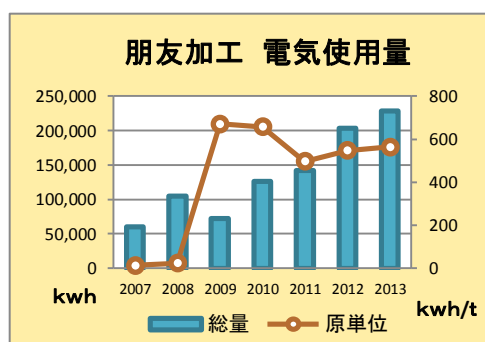
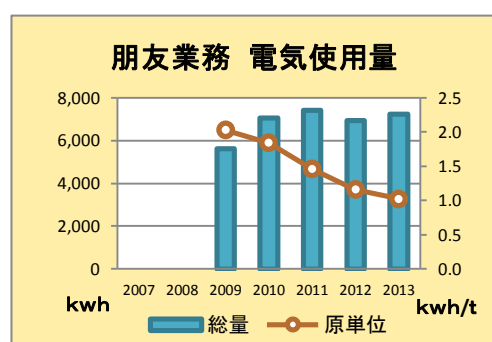
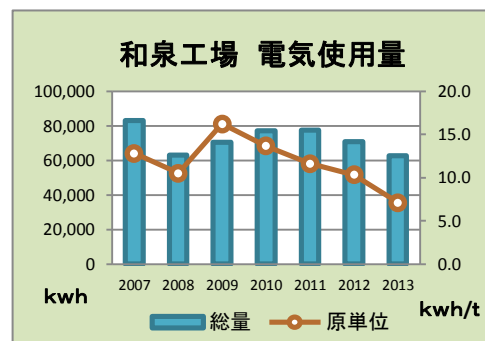


コピー機



啓発ポスター

□ 実績推移

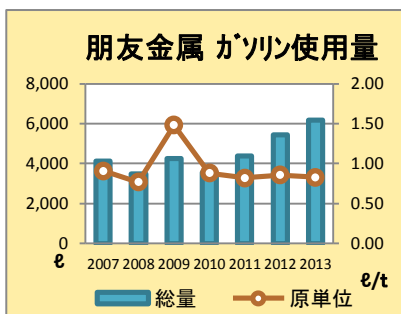
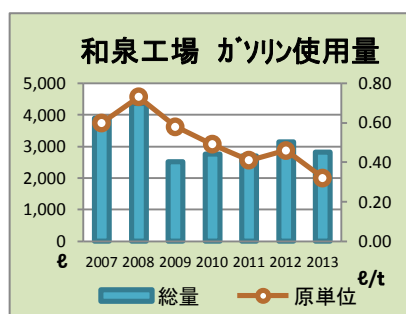


取組項目		単位		2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	
本社	電力使用量削減	総量	kwh	3,275,520	3,082,332	2,679,277	3,307,760	3,160,369	3,162,825	3,184,879	
		原単位	kwh/t	1,580.1	1,528.2	1,520.6	1,498.0	1,436	1,379	1,409	
和泉工場	電力使用量削減	総量	kwh	83,165	62,980	70,503	77,011	77,443	70,902	62,483	
		原単位	kwh/t	12.8	10.5	16.2	13.7	11.6	10.3	7.1	
朋友金属	電力使用量削減	営業	総量	kwh		5,615	7,043	7,404	6,943	7,230	
			原単位	kwh/t		2.03	1.84	1.46	1.16	1.02	
		加工	総量	kwh	60,040	105,090	71,886	126,584	142,313	202,959	228,501
			原単位	kwh/t	13.20	23.30	670.5	657.4	497.1	548.0	563.9

ガソリン使用量削減

目標: 2012年度実績の1%削減(原単位)

2013年度の環境活動計画				目標達成	
				原単位	総量
本社	(特に定めず)			---	---
和泉	アイドリングストップ	・適正速度の実施		○	○
朋友		・効率的な運転		○	×
評価	和泉	目標達成。総量も削減出来良い結果となった。営業活動が一定ユーザー企業なので削減につながったとみられる。			
	朋友	原単位での目標達成。製品取扱高の増加に伴い使用量も比例して増加した。			



□ ガソリン使用量削減の取組事例



- ・ハイブリッドカーの利用
- ・「エコドライブのすすめ」による啓発

取組項目		単位	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
和泉工場	ガソリン	総量	ℓ	3,889	4,358	2,524	2,753	2,702	3,138
		原単位	ℓ/t	0.60	0.73	0.58	0.49	0.41	0.46
朋友金属	ガソリン	総量	ℓ	4,116	3,490	4,235	3,540	4,389	5,437
		原単位	ℓ/t	0.91	0.77	1.48	0.88	0.82	0.86

軽油使用量削減

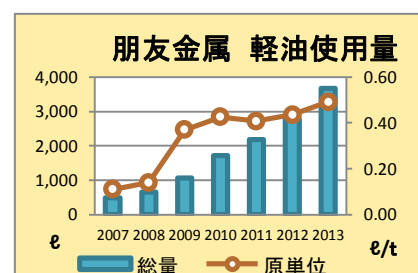
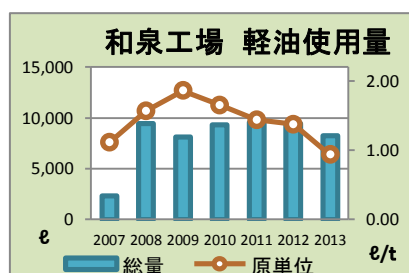
目標: 2012年度実績の1%削減(原単位)

2013年度の環境活動計画				目標達成	
				原単位	総量
本社	(特に定めず)			---	---
和泉	アイドリングストップ	・適正速度の実施		○	○
朋友		・効率的な運転		×	×
評価	和泉	原単位、総量とも削減出来た。出荷量が大幅に増加したが、効率よく配送作業が出来た為だと思われる。			
	朋友	不具合による製品の移動等が増えた為だと思われる。効率的な運転にさらに取り組む必要がある。			

□ 軽油使用量削減の取組事例



・「エコドライブのすすめ」による啓発



□ 実績推移

取組項目		単位	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
和泉工場	軽油	総量	ℓ	2,302	9,417	8,104	9,299	9,571	9,455
		原単位	ℓ/t	1.11	1.57	1.86	1.65	1.44	1.37
朋友金属	軽油	総量	ℓ	492	651	1,072	1,709	2,184	2,770
		原単位	ℓ/t	0.11	0.14	0.37	0.426	0.408	0.436

化学物質使用量削減

目標：2012年度実績の1%削減(原単位)

2013年度の環境活動計画				目標達成	
				原単位	総量
本社	トルエン [一部品の表面安定材に混入]		使用量の削減 使用量の徹底管理	×	
	キシレン [製品検査の浸透液に混入]			×	
	ナフタレン [製品検査の浸透液に混入]			×	
	ホウ酸 [炉材に混入]			×	
和泉	トルエン			×	
	キシレン			×	
	エチルベンゼン			×	
朋友	化学物質の使用量の管理			---	
評価	本社	トルエン キシレン ナフタレン ホウ酸	ユーザーへの不良対策、品質向上の為に使用しているので、削減は難しいかもしれない。 特定品目に使用。受注増加により浸透液の使用量も増加した。 築炉に使用。築炉回数が多かった為、未達成となった。		
	和泉	トルエン キシレン エチルベンゼン	塗装工程に組み込まれているので、使用量の削減は難しい。使用量の管理、保管を徹底する。		

□ 化学物質使用量削減の取組事例

- ・トルエン ----- 生砂の改善で使用量削減へ
- ・キシレン ----- 安定した製品造りで検査項目を低減し削減へ
- ・ナフタレン ----- 安定した製品造りで検査項目を低減し削減へ
- ・ホウ酸 ----- 毎月一定量を使用するため、削減方法検討中

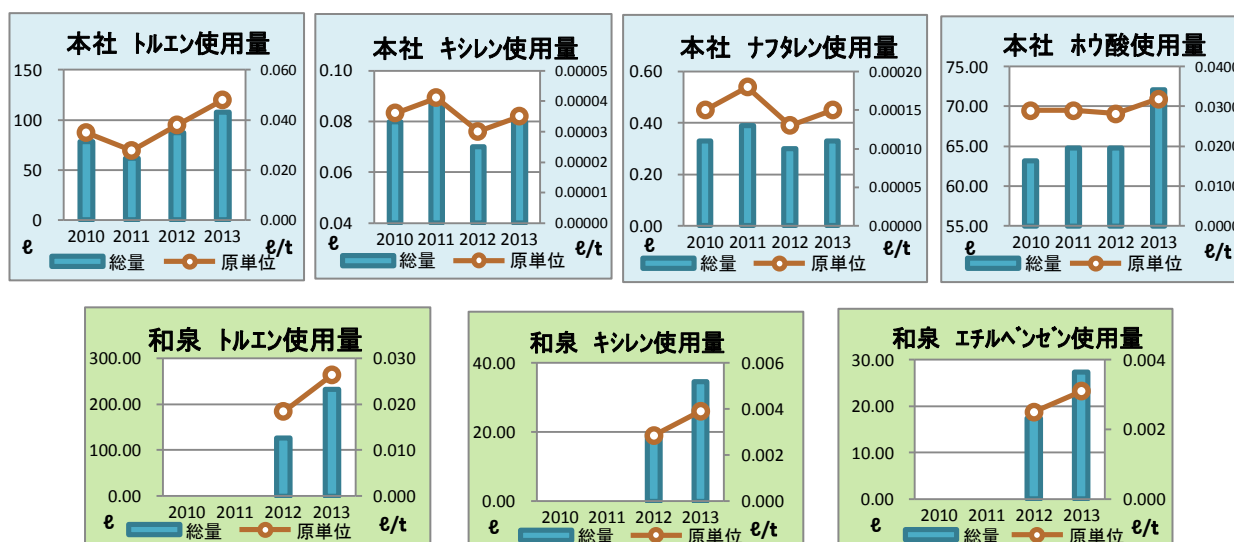


* 化学物質である塗料は、
ガシ付納戸を設置し保管しています。



* 周辺環境の悪化防ぐため防錆塗布のエア噴霧は、塗布場で行っています。

□ 実績推移



取組項目		単位				2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
本社	トルエン	総量	kg			78.16	61.29	87.17	107.88
		原単位	kg/t			0.035	0.0278	0.038	0.048
	キシレン	総量	kg			0.080	0.090	0.070	0.080
		原単位	kg/t			0.000036	0.000041	0.00003	0.00004
	ナフタレン	総量	kg			0.33	0.39	0.30	0.33
		原単位	kg/t			0.00015	0.00018	0.00013	0.00015
和泉工場	ホウ酸	総量	kg			63.15	64.80	64.80	72.05
		原単位	kg/t			0.029	0.029	0.0282	0.0319
	トルエン	総量	kg					126.54	232.17
		原単位	kg/t					0.018	0.026
	キシレン	総量	kg					19.520	34.618
		原単位	kg/t					0.00284	0.00390
	エチルベンゼン	総量	kg					17.41	27.39
		原単位	kg/t					0.00250	0.00310

廃棄物排出量削減

目標：2012年度実績の1%削減(原単位)

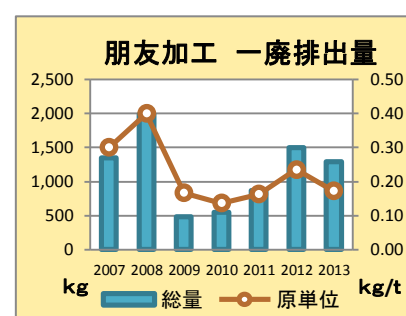
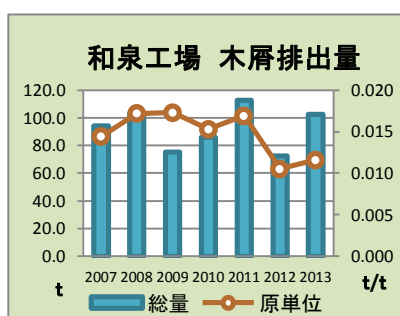
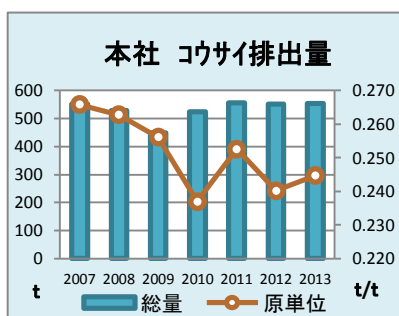
2013年度の環境活動計画			目標達成	
			原単位	総量
本社	フィルターの清掃		×	×
和泉	木製から網スケットに変更し、木屑の発生を抑制する		×	×
朋友	分別排出を徹底し、リサイクル・リユース率を上げ廃棄物量を抑制する		○	○
評価	本社	製造トラブルが多発した為、メンテナンス・清掃活動への時間が持てたが、清掃により鉾さいが排出されて増加した。		
	和泉	中国からの輸入量増加で木箱も増加。新規品の木箱入荷も影響し、未達成となった。		
	朋友	分別排出の徹底により、原単位、総量とも削減できた。		

□ 廃棄物排出量削減の取組事例

- ・スキットへの移行
- ・ごみの分別
- ・コピー用紙の裏紙再利用



□ 実績推移



取組項目		単位	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
本社	コウサイ	総量 t	551	530	450	524	556	551	553
		原単位 t/t	0.266	0.263	0.256	0.237	0.253	0.240	0.245
和泉工場	木屑	総量 t	94.0	103.0	75.1	85.95	112.50	72.3	102.5
		原単位 t/t	0.0144	0.0172	0.0173	0.0153	0.0169	0.0105	0.0116
朋友金属	一般廃棄物	総量 kg	1,350	1,990	480	552	873	1,496	1,290
		原単位 kg/t	0.300	0.400	0.167	0.137	0.163	0.236	0.173

水使用量削減

目標：2012年度実績の1%削減(原単位)

2013年度の環境活動計画			目標達成	
			原単位	総量
本社	手洗い場、食堂、トイレ等での節水ポスターによる節水のよびかけ		○	○
和泉			○	○
朋友			○	○
評価	本社	原単位、総量ともに達成できた。5ヶ月連続×が続き、是正策として風呂浴槽の湯はりを止めた結果、大幅に削減できた。		
	和泉	総量も大幅に削減でき良い結果といえるが、洗濯機の使用を中止したことでの結果なので作業員の負荷が気になるところである。		
	朋友	生活用水としての使用削減には限界がある為、前年度実績値維持で取り組んだが、使用量は減少した。節水の意識が減少につながったのだと思う。		

□ 水使用量削減の取組事例

- ・節水の呼びかけのポスター



『1分間で12リットル』

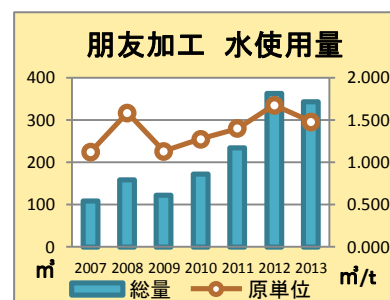
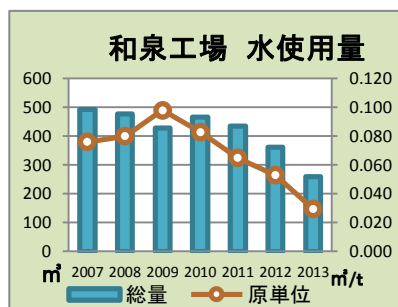
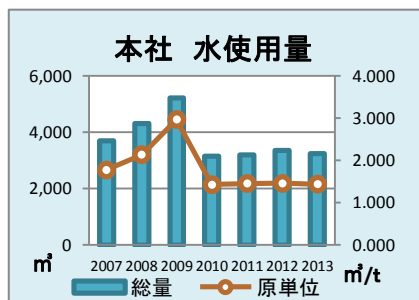


『ごまめに節水』



『ゆるんでませんか、その蛇口』

□ 実績推移



取組項目		単位	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
本社	水使用量の削減	総量	m³	3,696	4,302	5,223	3,155	3,200	3,349
		原単位	m³/t	1.783	2.133	2.971	1.429	1.454	1.460
和泉工場	水使用量の削減	総量	m³	493	478	428	467	435	362
		原単位	m³/t	0.076	0.080	0.098	0.083	0.065	0.053
朋友金属	水使用量の削減	総量	m³	108	159	122	172.4	233.8	362.9
		原単位	m³/人	1.120	1.583	1.129	1.274	1.398	1.675

浄化槽の水質悪化の是正処置

◇ 問題点

朋友金属㈱では、浄化槽で排水を処理しており、2014年2月に定期点検で水質がよい状態でないとの指摘を受けました。

◇ 原因

原因として考えられるのは、手洗い用のピンク石鹼と洗濯用洗剤ではないかとの見解でした。

◇ 処置

早速に環境負荷の少ない製品に変更することにしました。

・研磨剤入りのピンク石鹼



生分解性スクラブ入りのハンドソープ



● 生分解性スクラブ配合

生分解性スクラブは、土・川・海の中に棲息する一般的な微生物の働きにより炭酸ガスと水分に分解され自然に還ります。

・液体洗濯洗剤



国連が認めたエコ洗剤「エコベール」



● 全成分が植物由来

● 99%が生分解し、ほぼ自然物質に戻る

エコベールに使用されるココナッツ油ベースの界面活性剤は、排水になると3日以内に100%洗浄力を失い、その後約1週間で99%以上が生分解して、ほぼ自然物質に戻ります。そのため水中生物や、環境に影響を与えることがほとんどありません。

◇ 結果

問題発覚の2ヵ月後に行われた浄化槽水質検査では、総合判定「イ 適正」の結果となりました。

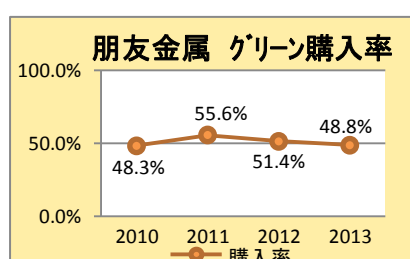
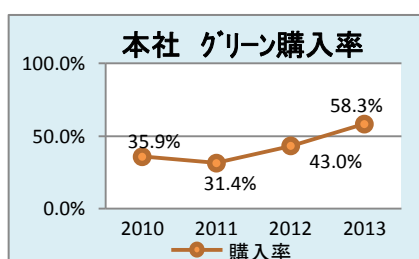
グリーン購入の推進

目標：2012年度実績の1%増(購入率)

2013年度の環境活動計画			目標達成
			購入率
本社	環境に配慮した物品等の調達に関するマニュアルに基づき購入を行う(物品等の購入は本社が包括)		○
和泉			
朋友			
	環境への負荷が小さい製品の優先的購入		×
評価	本社	グリーン購入推進により、達成率も好調である。 前年度に続き、積極的に環境負荷の小さい製品購入を進めたが、及ばず未達成となった。	
	和泉 朋友		

- グリーン購入の取組事例
備品等を購入する際には、カタログで環境負荷の少ない商品を選び購入しています。

実績推移



取組項目		単位	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
本社	グリーン商品購入率	購入率 %	35.9%	31.4%	43.0%	58.3%
朋友金属	グリーン商品購入率	購入率 %	48.3%	55.6%	51.4%	48.8%

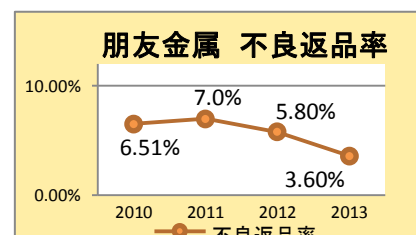
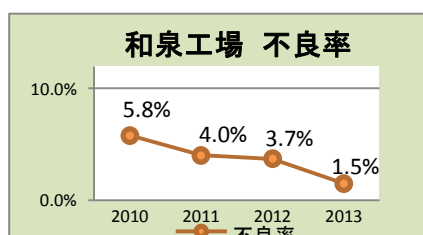
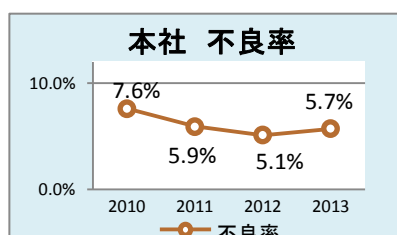
環境に配慮した生産・活動の推進

目標：2012年度実績の1%低減(不良率)

2013年度の環境活動計画			目標達成
			不良率
本社	不良率の低減		×
和泉	社内不良率の低減		○
朋友	不良返品率の低減		○
評価	本社	打痕による社内不良、返品による不良が増加。検査が厳しくなっている。 大幅に不良率が低減した。社内品は本社が検査を徹底した分、和泉工場では減少したと推測する。 製品取扱量が増加したが不具合がそれに比例して増えなかった為、不良返品率が大幅に低減した。	
	和泉		
	朋友		

- 環境に配慮した生産・活動推進への取組事例
毎月本社でISO品質会議を行い、プロセス管理を通して不良品対策、不良率低減に努めています。

実績推移



取組項目		単位	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
本社	不良率の低減	不良率 %	7.6%	5.9%	5.1%	5.7%
和泉工場	不良率の低減	不良率 %	5.8%	4.0%	3.7%	1.5%
朋友金属	不良返品率の低減	不良返品率 %	6.51%	7.0%	5.80%	3.60%

環境配慮型水質改善装置 『サークルクリーナー』導入

省エネエアコン購入



事務所棟 1階のエアコンの老朽化、故障に伴い、省エネ型エアコンに入れ替え。



メンテナンスコスト、水使用量削減のため導入

バキュームスイーパー 【HAKO】購入



製造部、工場・倉庫内の清掃、作業環境改善に向けて購入。

再生可能エネルギー発電設備 太陽光発電システムの導入



発電出力46.06kw

2014年3月20日稼働開始なので

2013年度の電力量削減の成果には直接貢献していませんが、2014年度の大幅な電力量削減に大きな期待が持てます。

夏季における暑熱対応



扇風機による涼快から冷風機を導入し作業環境を改善することで、作業効率を向上させた。

敷地内空きスペース の有効利用



品質保証のより向上を図る為、敷地内の空きスペースを利用し、現在の検査項目で出来なかった製品のミクロ組織検査の検査室を設けた。

置場区画の明確化



工場内の製品置き場区画を見直し明確にすることで、製品の直行率を向上させた結果、先入れ、先出がスムーズになり客先クレームの低減を図ることができた。

天井配線に変更



電気工具の配線が床にハリ巡る状態で作業をしていたが電気コードを天井から、吊さげる方式に改善し、作業者の安全性を確保した。

本 社

法規制	評価	評価方法又は対策内容
廃棄物処理法	遵守	大阪府報告 マニフェスト管理
騒音規制法	遵守	高石市騒音測定値報告
水質汚濁防止法	遵守	協同組合内処置 50m ³ /日 厳守
大気汚染防止法	遵守	高石市粉じん測定値報告 集塵機設置
消防法	遵守	高石市 1回/3年 点検実施報告書

和泉工場

法規制	評価	評価方法又は対策内容
廃棄物処理法	遵守	大阪府報告 マニフェスト管理
騒音規制法	遵守	和泉市騒音測定値報告
消防法	遵守	和泉市 1回/3年 点検実施報告書

朋友金属

法規制	評価	評価方法又は対策内容
廃棄物処理法	遵守	大阪府報告 マニフェスト管理
騒音規制法	遵守	和泉市騒音測定値報告
浄化槽法	遵守	1回/1年 定期検査

環境関連法規の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。
また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

代表取締役 阪口 新太郎

2014年度の環境活動計画		
二酸化炭素排出量(kg-CO2)		
本社	エネルギー使用量をサト全体で共通し、1%削減を目標に取組み、結果として同等量の排出減を目指す	
和泉		
朋友		
次年度目標: 2013年度実績に対し1%削減		中長期目標: 2012年度の実績に対し、2017年度までに5%削減
電気使用量(kwh)		
本社	工場機械用品の作業効率化及びメンテナンスの強化 不要な照明を消す	
和泉		
朋友業務		
朋友加工		
次年度目標: 2013年度実績に対し1%削減		中長期目標: 2012年度の実績に対し、2017年度までに5%削減
ガソリン使用量(L)		
本社	(特に定めず) ・適正速度の実施 ・効率的な運転 ・迅速な不具合対策 アイドリングストップ	
和泉		
朋友		
次年度目標: 2013年度実績に対し1%削減		中長期目標: 2012年度の実績に対し、2017年度までに5%削減
軽油使用量の削減		
本社	(特に定めず) ・適正速度の実施 ・効率的な運転 アイドリングストップ	
和泉		
朋友		
次年度目標: 2013年度実績に対し1%削減		中長期目標: 2012年度の実績に対し、2017年度までに5%削減
廃棄物排出量の削減		
本社	フィルターの清掃 木製から網スキットに変更し、木屑の発生を抑制する 分別排出を徹底し、リサイクル・リユース率を上げ廃棄物量を抑制する	
和泉		
朋友		
次年度目標: 2013年度実績に対し1%削減		中長期目標: 2012年度の実績に対し、2017年度までに5%削減
水使用量の削減		
本社	手洗い場、食堂、トイレ等での節水ポスターによる節水のよびかけ	
和泉		
次年度目標: 2013年度実績に対し1%削減		中長期目標: 2012年度の実績に対し、2017年度までに5%削減
朋友	手洗い場、食堂、トイレ等での節水ポスターによる節水のよびかけ	
次年度目標: 2013年度実績を維持する		中長期目標: 2012年度の実績を維持する
化学物質使用量の削減		
本社	取扱に注意し使用量を少量ですませるよう心掛ける、使用量の徹底管理	
和泉		
朋友		
次年度目標: 2013年度実績に対し1%削減		中長期目標: 2012年度の実績に対し、2017年度までに5%削減
グリーン購入の推進		
本社	環境への負荷が小さい商品を選択し購入 (物品等の購入は本社が包括) 環境に配慮した物品等の調達に関するマニュアルに基づき購入を行う	
和泉		
朋友		
次年度目標: 2013年度実績に対し1%増		中長期目標: 2012年度の実績に対し、2017年度までに5%増
環境に配慮した生産・活動の推進		
本社	不良率の低減(原因説明・改善) 社内不良率の低減 不良返品率の低減	
和泉		
朋友		
次年度目標: 2013年度実績に対し1%削減		中長期目標: 2012年度の実績に対し、2017年度までに5%削減

総 評

《本 社》

CO₂削減は、僅からながら未達成だった。製造部の相次ぐトラブル、また不良品の増加により、生産効率に影響が出て目標に届かなかった。化学物質は、製造量と併せて増加していき、自社だけでは改善が難しく仕入れ業者へ代替等を問い合わせ、検討する。製造部のトラブルにより、稼働出来ない時間を清掃活動に費やした結果、普段出来ない箇所まで清掃でき、鉱さい量は増加したが、作業環境は改善出来た。

《和泉工場》

50%近いCO₂削減が出来、環境活動に真摯に取り組んだ成果が実感できる。不良率の達成率が著しく、検査作業の効率化が図れ、結果全体のCO₂削減へと繋がったと思われます。出荷量増加に伴い、大量納入が可能となり、効率よく配送業務もでき、軽油も30%を超える削減ができた。次年度は、木屑の削減に努力して取り組みたい。化学物質の使用量、前年度の倍近いので、今後増加しない様に、注視していきたい。

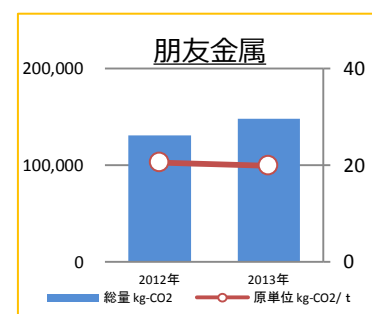
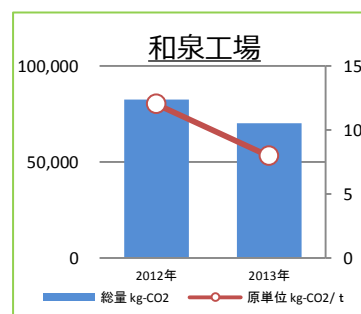
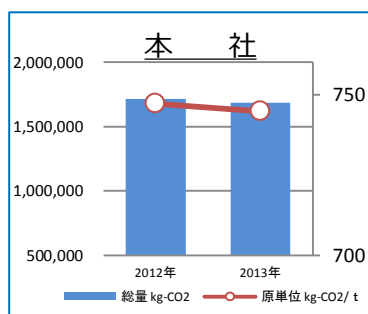
《朋友金属》

二酸化炭素排出量の原単での目標が達成できたことは良かった。しかし排出量は電気、ガソリン、軽油使用量の増加が影響し大幅に増えてしまった。特に軽油使用量については、原単位での目標を達成できるよう取り組みを強化したい。そのほか一般廃棄物、水、環境配慮(不良返品率の低減)の3項目においてすべて目標達成となり、取組の努力の結果が表れたと思われる。グリーン購入については、昨年度も目標が達成できなかったため徹底してグリーン購入を進めていく必要がある。

代表者による全体評価と見直しの結果

2013年度は、昨年度よりもさらに売上も増加しましたが、本社、和泉工場、朋友金属㈱の二酸化炭素排出量総合計が昨年度より削減でき良い結果となりました。特に和泉工場の電力量、ガソリン、軽油使用量の削減が大きく貢献したと言えます。また、3月には和泉工場に太陽光発電システムを導入したため、大幅な電力量の削減が期待できます。気になる点は、廃棄物と化学物質の使用量が増加したことです。今の状況では売上増加に比例し廃棄物も増加するので、原単位での目標達成が出来るよう取り組みます。次年度は、達成できなかった項目を重点的に、環境活動の取り組みを強化し、すべての項目での目標達成を目指します。

----- CO₂排出量推移グラフ -----



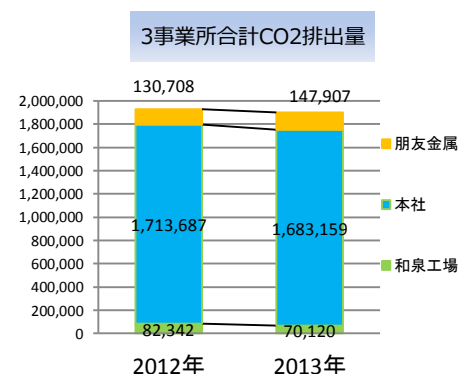
	2012年度	2013年度	増減率
総量	1,713,687	1,683,159	-1.8%
原単位	747.03	744.76	-0.3%

	2012年度	2013年度	増減率
総量	82,342	70,120	-14.8%
原単位	11.97	7.95	-33.6%

	2012年度	2013年度	増減率
総量	130,708	147,907	13.2%
原単位	20.58	19.8	-3.8%

*排出係数0.514

2013年度は、二酸化炭素排出係数の見直しをし、0.378kg-CO₂から2012年度関西電力の排出係数0.514kg-CO₂を採用し、二酸化炭素排出量を計算しました。2012年度のCO₂排出量を排出係数0.514で算出しておいて、中期目標の2017年までに2012年の実績から5%削減という目標値に見直し設定しました。この排出係数は中期目標の2017年まで用いる予定です。2014年度も環境方針の見直しはなしとし、2013年度の実績の原単位での1%削減をめざし、環境保全活動を進めていきます。





発行者 〒592-0001
大阪府高石市高砂3丁目30番地

 **大阪金属株式会社**

tel: 072-268-0151 fax:072-268-0155

E-mai : takaishi@osakametal.co.jp

HP : <http://www.osakametal.co.jp>